

# 株式会社コスモサミット くるみん認定取得！！

令和2年10月2日、石川労働局にて認定通知書交付式を行い、交付式終了後、仕事と子育ての両立支援に向けた取組について伺いました。

局) 認定制度を知ったきっかけは何でしたか。

認) 子育て支援に取り組んでいる企業の多くがくるみんマークを表示しているのに気付いて調べたところ、くるみん認定というものがあることを知りました。

局) くるみん認定を取得しようと思われた理由は何ですか。

認) 良い人材を確保できると考えたためです。当社は女性を積極的に採用しているのですが、女性が子育てをしながら働きやすい会社であることをアピールできると思いました。



武隈石川労働局長（左）と山西幸一代表取締役社長（右）

局) 男性の育児休業取得促進や短時間正社員制度の導入などに取り組まれましたが、取り組んでみていかがでしたか。

認) 今では育児休業給付金の支給、社会保険料等の免除により、育児休業中でも休業前の約8割の収入が維持できるなど、かなり育児休業を取りやすい環境になっていて、企業内での取組も進めやすかったです。国にはこういった取組をさらに進めてほしいと思います。

局) 政府は2025年までに男性の育児休業取得率を30%まで向上させることを目標に掲げていますが、昨年度は7.48%と大きな開きがあります。また、石川県の男性育休取得率も7.0%と低い状況です。御社は今回の認定に向け、男性の育児休業の取得に取り組んでみていかがでしたか。



「密」を避けての座談会の様子

認) 男性の育児休業にはまだ見えない高い壁があるような気がします。当社では先日も男性社員が育児休業を取得しましたが、まだ育児休業を取ることが当たり前という雰囲気には至っていません。

子どもが生まれたら、男性も育児休業を取るのが当たり前という雰囲気を社会全体で作り上げていくことが大事だと思います。

局) 石川労働局においても、引き続き、企業の取組を支援し、多くの企業にくるみん認定を取得してもらいたいと考えています。

御社におかれては、認定マークを企業PRに活用していただくとともに、認定企業として県内企業への制度の周知にもご協力をお願いします。

※ 認) 認定企業 株式会社コスモサミット 局) 石川労働局

## 株式会社 コスモサミット

### ◎ 事業所概要

企業名：株式会社 コスモサミット  
代表者氏名：代表取締役 山西 幸一  
所在地：金沢市示野中町二丁目 113 番地  
業種：情報サービス業  
労働者数：117人



### ◎ 行動計画

- |        |  |
|--------|--|
| 1 計画期間 | 平成 27 年 4 月 1 日 ~ 令和 2 年 3 月 31 日  |
| 2 取組目標 | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 小学校就学前の育児のための短時間労働が可能</li><li>○ 法律で定める看護休暇以外に 3 歳未満の子供の看護休暇を有給で実施（年間 5 日）継続</li><li>○ 配偶者の出産に伴う男性社員の出産休暇付与の継続</li><li>○ 仕事の効率化を図るため週 1 日のノー残業デーを継続</li><li>○ 短時間正社員制度の導入</li></ul> |

### ◎ 認定取得に向けた取組状況

・ 育児短時間勤務制度の対象範囲を拡大（3歳に満たない子 → 小学校就学の始期に達するまでの子）するとともに、子の看護休暇や配偶者出産休暇を有給で付与するなど、利用しやすい制度となるよう環境整備を行った。

行動計画期間において、配偶者出産休暇は取得率 100%（8人中8人）、子の看護休暇は5名（延べ35日）の利用があった。

・ 行動計画の開始前から所定労働時間が短い正社員（いわゆる短時間正社員）は存在していたが、制度としての規定が整備されていなかったため、人材確保の観点から、理由を問わずに短時間の勤務を選択することを可能とする短時間正社員制度を導入した。

・ 平成 19 年 7 月から実施しているノー残業デーを継続し、毎週水曜日は午後 6 時までに帰宅するようイントラネットへの掲示を行うとともに、定時退社を促す館内放送を行った。

## 企業からのひとこと

### ○ 行動計画に基づく取組に当たって工夫した点

育児期間はもちろん期間外でも社員の個々の事情を考慮し、短時間勤務ができる制度を導入することにより、社員全体のワークライフバランスの推進を目指しました。

毎週水曜日はイントラネットでの「ノー残業デー」の掲示に加え、定時退社を促す館内放送をして周知を図りました。

### ○ 行動計画に基づく取組の効果・課題

定時後に上司から部下へ声掛けする等ノー残業デーの認識が定着し、水曜日は他の曜日と比べると、明らかに午後6時以降に駐車場に停まっている車の台数が少なくなりました。

育児のための休暇については浸透していて、子の看護休暇は男女共が取得しています。ただ、男性社員が育児休業の取得を躊躇するという現状が未だ根付いているため、今まで以上に制度に関する情報を発信するなど、性別の区別なく仕事と家庭を両立しやすい環境をつくっていきたいと思います。

### ○ 育児関連休業を取得した男性社員の声

2人目の出産の際に1週間の育児休業を取らせてもらいました。

育児休業前はなかなか子供と過ごす時間が取れませんでした。育児休業中は子供と過ごす時間が多く取れ、短い期間でしたが取得できて良かったと思います。

うちの場合は育児休業中に奥さんが入院していたので、1人目の世話を全て担当していましたが、普段から積極的に育児に取り組んでいた分、自分が心配していたより生活に影響はありませんでした。

今後、育児休業を取れる可能性がある方は、是非取った方が良いと思います。

1週間でも良いので、仕事が忙しい男性も育児休業を是非お勧めします。

(ソリューションシステム本部 第1システム部・34歳)